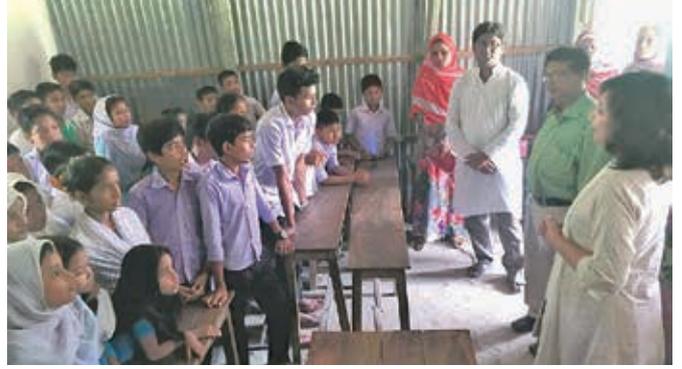




3歳児のクラス



国民的歌手の WFWP バングラデシュ副会長が学校を訪問

## オセアニア ソロモン諸島

### 「ニューホープアカデミー」幼稚園運営支援

**概要：**2011年2月に首都ホニアラにて、WFWP オーストラリアの支援を受け開園した幼稚園の運営支援を、2013年に開始。

3～5歳児が対象。政府指定の幼稚園カリキュラムに加え、海外（日本、アメリカ、韓国）のカリキュラムを参考に改善している。1学期10週間の4学期制。

授業料は、1学期約7,500円で、私立幼稚園の中では低額。行事の資金等は母親たちが募金活動で賄っている。人格教育を取り入れた道徳教育に力をいれ、質の高い教育を提供している。

保護者達が教育熱心で、父母勉強会、読み聞かせ習慣の推進を図っている。

#### 進展状況

##### 【2017】

- 幼稚園をクムアベニューに移転。売店を設置した。
- WFWP オーストラリアより iPad 40 台の寄贈があり、5歳クラスの希望者 20 人に対して IT クラスを開始した。ソロモンの幼稚園では初めての試みで、保護者にも喜ばれている。
- WFWP 日本の会員の娘である大学生がボランティアとして活動に参加。園児たちに対し、絵本や紙芝居の読み語りをを行い、折り紙や英語の手遊び歌を指導した。又、絵本の修理作業を行い、本の扱い方のポスターを作成、寄贈した。
- 本棚と日本から持参したプリンターを寄贈。
- WFWP ソロモン会長兼ニューホープアカデミー校長のセリナ・ガロ先生が来日。千葉市内の幼稚園を視察した。

##### 【2018】

- 小学校仮教室3クラスが建設され、小学校第1期生が入学。
- 学校登録がホニアラ市に受理された。2020年より登録校として認可され、教育省より教科書や教師の給与等が支援される。
- 倉庫を改装して、各クラスを広くした。園児たちが活動中教室から出てしまわぬよう、各教室に簡易ドアを付けた。メインロードからの砂埃を防ぐため、屋根下と窓に専用のネットを設置。食器棚にも埃除けの扉を作った。
- ニューホープアカデミーの理事の子供たちをモニターとしてプログラミング教育を実施。アプリをインストールすれば PC とテキストで自主勉強も出来、十分に教育可能であることがわかった。

児童数	3歳児	4歳児	5歳児	小学1年	合計
2017	40	35	35	—	110
2018	35	34	35	32	136

### その他実施国：ジャマイカ

## アジア バングラデシュ

### 「ジャイギール小学校」運営支援

**概要：**現地 NGO がマニクグンジ県シンガイル郡ジャイギール村に建設した小学校で、1994年より WFWP 日本で黒板、机、椅子、教科書等を支援してきた。開校当時は藁ぶき屋根の校舎で土の上に座って授業をしていたが、1997年に、WFWP 日本が派遣した日本の青年たちが手伝って、レンガ造りの校舎に建て替えた。

幼児から小学5年生まで7つのクラスがある。午前は低学年、午後は高学年の授業を実施。

バングラデシュは小学5年生まで義務教育で政府が無償教育を行っているが、農村では子供が労働力に駆り出されることから小学校の脱落率が高い。そのため、「子供達を必ず学校に通わせる」という条件で、母親対象の小口融資プログラムを2007年より学校が実施している。

村の85%の子供達がこの学校に通っており、私立学校であるが公立学校の教科書を使用して着実に学力がつく教え方をしているため、成績が大変良い。地域の教育委員会が行う卒業生（5年生）対象の統一テストでは総合点で近年1位を保っている。

この学校ができるまでこの村には大学に行った子供はいなかったが、今では名門ダッカ大学に行く卒業生を輩出することができるようになった。

現地 NGO が運営から撤退し、WFWP バングラデシュが運営を引き継いだ。資金不足のため、WFWP 日本で2015年に支援を再開した。2017年に政府から公立学校として認可され、2019年に私立から公立学校に移行する。

#### 進展状況

##### 【2017】

- 国民的歌手である WFWP バングラデシュ副会長（当時）が学校を訪問し、児童や父母を激励した。
- 11月に地域の卒業生対象の統一テストが実施され、35人が参加し全員合格。地域の学校別成績では、27校中第1位を獲得。

##### 【2018】

- 11月に地域の卒業生対象の統一テストが実施され、46人が参加し全員合格。成績優秀者8人に政府の特別奨学金が授与された。地域の学校別成績では、27校中第1位を獲得。
- 農村地域でありながら、小口融資のおかげで児童の脱落がなくなり、女子の数も男子と同数、または男子を上回る学年もでてきた。

児童数	男子	女子	合計
2017	187	155	342
2018	189	160	349